

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大治町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度	必要性			補足	目標①	目標②	
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導を行うことにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により経営改善に資する指導を行う。	巡回指導 実企業数 135 延べ指導件数 306件 企業窓口指導 実企業数 404 延べ指導件数 1,267件 課題解決提案件数：12件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 157.3 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 50.0 %)	得られた効果	巡回・窓口指導では、事業者の支援ニーズに対応した支援指導ができた。課題解決提案指導では、事業者の課題に対して、丁寧な対応に心掛けた解決に向けた支援に努めた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 A	満足度	補足	目標①	目標②	巡回・窓口相談時、事業者との対応を丁寧に行い、課題の把握に努める。課題解決のため、柔軟な対応・提案を行い事業者の信頼を得られる指導を行う。
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告書の作成指導を行い、必要な税制の知識を習得する意欲を高め適正な税務申告を行うとともに、経理の自計化や計数管理による経営力向上に結びつける。	記帳指導実企業数 40企業 (内、機械化委託数：40企業) 年間指導延べ回数 599回 年間指導日数 201日	個人事業主及び経理事務担当者	指標	指導対象者数 (達成度 114.3 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	諸帳簿や決算書を作成することにより、事業主が事業内容の把握や金融のために役立てることができた。青色申告特別控除の適用等、適正な税務申告ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 A	満足度	補足	目標①	目標②	本事業の必要性は高いと思われるため、今後も事業のPRと委託事業所の確保に努める。
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識の習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	個別講習会：7回 参加延べ人数：77人 集団講習会：2回 参加人数：40人 創業支援等ネットワーク事業 (海部南部地区商工会と共催) 創業支援セミナー 1月14日(土) 参加者29人のうち11人 2月18日(土) 参加者26人のうち11人	小規模事業者及びその事業に従事する者	指標	講習会参加者数 (達成度 78.0 %)	指標	創業支援セミナー参加者数 (達成度 220.0 %)	得られた効果	記帳指導講習会は、会員加入につながり、申告書作成の便を図るだけでなく、記帳が経営にいかんにか大切かを啓蒙する良い機会となった。集団税務講習会においては、消費税インボイス制度の周知を語ることができた。創業支援セミナーを開催することにより、創業予定者の経営・財務に関する疑問・不安を解決する一助となった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 A	満足度	補足	目標①	目標②	記帳指導講習会は、アンケートや各種相談時に、開催日及び時間などニーズの把握に努め、小規模事業者の参加者数の増加を目指す。集団講習会は、話題性や必要性の高いテーマを選択する事で、参加者数増加を図るよう努める。創業支援セミナーについては継続して実施していく。
若手後継者育成事業	若手後継者である青年部・女性部を中心に、中長期的な経営計画を考え、経営理念や経営ビジョンを明確化することにより、経営内容の見直し、顧客ニーズへの対応、新たな事業展開、販路拡大など時代の変化に対応できる企業を目指すことを目的とする。また、小規模持続化補助金・経営革新計画などへの申請も取り組んでいく。	経営計画作成支援セミナー 7月30日(土) 参加者人数：9人 個別相談会：3回 参加延べ人数：13人	小規模事業者	指標	セミナー参加者数 (達成度 30.0 %)	指標	セミナー受講者の満足度 (達成度 114.3 %)	得られた効果	小規模事業者持続化補助金申請に向けて、経営計画の策定方法を学ぶセミナーを開催し、個別相談会も実施した。補助金申請の手続きをスムーズに進めることができるようになり、採択にもつながり、事業活動に資することができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果	事業者への 必要性 A	満足度	補足	目標①	目標②	若手後継者が中長期的な視点に立って経営に参加できるようにするためにも、セミナー内容の充実を図り継続して実施していく。
地域振興祭事業（ふれあいフェスティバル）	商工まつりを開催することにより、その集客力を活かして地域経済活動を促進し、商工会活動等のPRの機会とする。また、社会一般の福祉の増進に資し、もって地域経済の健全な発展に寄与することを目的とする。	会員応援イベント (エンジョイ！はるカム！) 6月5日(日)、大治小学校 出店事業者数：19事業所 大治町商工祭り Withはるウィン 10月23日(日) 大治中学校 出店事業者数：16企業	町民及び商工会員（小規模事業者に対し商工会事業のPRの場となる）	指標	買物券利用額 (達成度 36.3 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	多くの住民と商工会とのふれあいの場となり、商工会活動等のPRの機会となった。出店事業者にとっては、認知度アップを図ることができ、事業継続の一助となった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 D 目標達成度 D	調査結果	事業者への 必要性 A	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者に対して商工会事業をPRできるよい機会となっているため、イベント内容等を工夫しさらなる集客力向上を図りたい。目標指標を出店事業者数へ変更する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大治町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		
商店街振興事業（街路灯設置・維持管理事業）	郊外型大型店等への購買力流出などに対応するため、街路灯を設置維持管理することにより、点在する小売店等の活性化、集客力向上につなげ、明るい街づくりを推進する。	既存街路灯の電球交換や維持・修繕などに努めた。 ・修繕工事：4件	小規模事業者	指標	年間維持管理本数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	事業所周辺を明るい環境にすることにより、地域振興・街づくりにつながっている。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	老朽化した街路灯について順次建替を進め、継続して維持管理を行い、明るい環境・街づくりにつなげていく。	
産業活性化事業（地域産業資源普及推進事業）	特産品の販売・PRを通じ、地域活性化を図り、新商品の研究・開発により地域商工業の発展に寄与する。	新型コロナウイルス感染症により事業中止	小規模事業者	指標	取扱事業所数 (達成度 %)	指標	(達成度 %)		総合評価	—	自己評価 目標達成度	調査結果 必要性 満足度 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし	満足度 A 補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし	目標① 廃止 廃止	目標②	事業内容を精査し、継続して実施していくことが見込めないため、本年度は事業を廃止する。	
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員事業者等にとって有益な経営情報を取得したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	随時ホームページ内の商工業事業や各種施策情報を更新し、事業所に情報提供を行った。 年間アクセス件数：20,228件	小規模事業者	指標	ホームページアクセス件数 (達成度 101.1 %)	指標	(達成度 %)	商工会のホームページを通じて多くの人が会員企業のホームページを閲覧し、ビジネスチャンスを拡大した。また商工会活動や最新の経営情報を広く発信することができた。	総合評価	A	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	今後も他団体等のホームページなどを参考に、より利用しやすいものにしていく。	
異業種交流事業	先進地や先進企業を視察し、事業に資するアイデアやヒントを得る機会を提供する。また、異業種交流の場も提供する。	会員初詣事業 令和5年1月10日(月)開催 参加人数：87人	商工会員	指標	参加者数 (達成度 72.5 %)	指標	(達成度 %)	会員事業所の交流及び情報交換の良い機会となることにも商工会事業を広くPRする場となった。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	会員事業者に好評であるため、今後も継続して実施していきたい。	
青年部・女性部事業（青年部事業）	若手事業主及び若手後継者の資質向上を図る。また、商工会組織の担い手かつ地域振興発展の先導役の育成を図る。青年部活動の活性化を図るため、部員増強運動を積極的に推進する。	絆感謝運動・スポーツ大会・クリスマスイベントの実施。県青連・全青連・海部地区青年部連絡協議会への参加。 (計32回開催、事業者参加者数：延べ462人)	青年部員	指標	事業参加者数 (達成度 121.6 %)	指標	(達成度 %)	各事業を通じ部員の資質向上が図られ、部員同士の交流により、事業協力などを行えるようになり、事業発展に寄与することができた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標②	部員満足度向上のため、事業内容の拡充に努める。	
青年部・女性部事業（女性部事業）	商工業に携わる女性の資質向上を目的とする。女性部活動の活性化を図るため、女性部増強運動を積極的に推進する。	ホウリング交流親睦会、部員研修会、経営講演会の開催。県女性連・全女性連・海部地区女性部連絡協議会への参加。 (計18回開催、事業者参加者数：延べ171人)	女性部員	指標	事業参加者数 (達成度 114.0 %)	指標	(達成度 %)	研修会や講演会を通じ部員の資質向上が図られ、情報交換の場としても大いに活用された。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標②	組織強化のため部員数確保に努める。	
部会・委員会事業	先進地や先進企業を視察し、事業に資するアイデアやヒントを得る機会を提供する。また、異業種交流の場も提供する。	視察研修会 法人会合同 7月17日(日)開催 参加人数：15人 青申会合同 10月3日(月)開催 参加人数：15人	地区内会員事業者	指標	事業参加者数 (達成度 60.0 %)	指標	(達成度 %)	研修会を通じ、会員事業所の交流が図られ、異業種交流に機会にもなり、ビジネスチャンスが広がった。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標②	町内企業の交流が図れる事業を開催していきたい。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

